

逐條土地收用法資料

(一五)

高 坂 孝 三

一〇、收用時期決定ノ方法

(行裁大正九年第二二四號)
同十一年二月二十二日宣告

(要旨) 收用審査會ニ於テ收用時期ヲ定ムルニ當リ裁決當日ヲ算入シテ量定スルモ將又日曜日ヲ選ムモ何等ノ不法アルコトナク民法若クハ民事訴訟法ニ關スル規定ハ勿論明治三十三年勅令第百號ノ規定モ此場合ニ適用アルモノニ非ス

(判決理由) 原告ハ本件大正九年十二月二日附裁決書ニ於テ其理由中ニ收用ノ時期ハ裁決ノ日ヨリ二十五日ヲ相當トセル旨説明セルノミナラス大正九年十二月二十六日ハ日曜日ニ當ルヲ以テ收用時期ハ同月二十七日ナルコト明ナルニ拘ラス裁決主文ニ於テ大正九年十二月二十六日ヲ收用ノ時期ト爲ス旨記載シタルハ理由不備ノ違法アルモノナリト主張スルモ收用審査會ニ於テ

收用時期ヲ定ムルニ當リ裁決當日ヲ算入シテ量定スルモ將又日曜日ヲ選ブモ何等ノ不法アルコトナシ原告ハ明治三十三年勅令第百號及民法並民事訴訟法ノ期間ニ關スル規定ヲ引用スルモ民法並民事訴訟法ノ規定カ此ノ場合ニ適用ナキハ勿論明治三十三年勅令第百號ノ規定ハ土地收用法若クハ之ニ基ク命令ニ規定シタル期間ノ計算法ヲ定メタルモノニシテ此場合ニ適用アルモノニ非ス而シテ本件裁決書ノ全文ヲ通覽スルニ裁決ノ日ヨリ二十五日云々ト説明シタルハ裁決ノ當日ヨリ起算スル趣旨ニシテ收用ノ時期ハ主文記載ノ如ク定メタルモノト解スヘキカ故ニ此ノ點ニ關スル原告ノ主張亦採用セス

一一、收用時期決定ニ關スル審査會ノ權限

(內務明治三十六年二月十八日)
富山縣知事宛、土木局長同答

(要旨) 收用審査事項中實地臨檢ヲ要スル等緻密ノ審査ヲ

要スル爲メ起業者ノ計畫セル收用ノ時期ヲ經過セムトシ若
ハ經過シタルトキハ收用審査會ハ相當時期ヲ定メテ裁決ス
ルモ差支ナシ

(原文) 本年二月七日内六發第十六號ヲ以テ土地收用法中疑義
ニ關シ照會相成候處

五 御意見ノ通ニテ可然存候
右及回答候也

追テ第五號ハ假令土地所有者ヨリ收用ノ時期ニ付意見ヲ申立
テタルトキト雖モ本文ノ如キ場合ニ於テハ相當時期ヲ定メ差
支無之ト存候爲念此段申添候也

(富山縣知事伺) 五 收用審査事項中實地臨檢ヲ要スル等彼此
緻密ノ審査ヲ要スル爲メ起業者ノ計畫セル收用ノ時期ヲ經過セ
ムトシ若ハ經過シタル時ハ右第四十一條ノ規定ニ拘ラス(被收
用者ヨリ收用時期ニ付キ意見ヲ申立サル場合) 收用審査會ニ於
テ相當時期ヲ定メ裁決スルモ差支ナキ哉

二、準備手續ノ欠缺ト本條第二項

(行裁大正八年一五八號)
同八年十月四日宣告

(要旨) 起業者カ土地收用法第九條乃至第十一條ノ規定ニ
從ヒ其準備手續ヲ爲ササリシトスルモ之ハ事業準備ノ手續

ニ於ケル違法アリシニ止マリ收用ノ申請自體ニ關シ違法ア
ルニアラサルヲ以テ其裁決申請カ土地收用法第三十五條第
二項ニ該當スルモノト云フヲ得ス

(判決理由) 按スルニ原告ノ主張スル如ク其所有地ノ收用ニ付
キ起業者佐久鐵道株式會社カ土地收用法第九條乃至第十一條ノ
規定ニ從ヒ其準備手續ヲ爲ササリシトスルモ之ハ事業準備ノ手
續ニ於テ違法アリシニ止マリ收用ノ申請自體ニ關シ違法アルニ
アラサルヲ以テ右會社ノ裁決申請カ土地收用法第三十五條第二
項ノ「起業者ノ申請カ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定
ニ違反スルトキ云々」ニ該當スルモノト云フヲ得ス從テ被告カ
其中請ニ基キテ裁決ヲ爲シタルハ違法ニアラス

一三、裁決申請書中收用地ノ地番相違ト 本條第二項

(行裁大正十一年第八二一號)
同十五年十二月二十三日宣告

(要旨) 起業者ノ申請書ノ附屬圖面ニ收用地ノ區域ヲ明示
シアル以上縱令之ニ記載セル地番カ真正ノ地番ニ符合セザ
ルコトアリトスルモ土地收用法第三十五條第二項ニ所謂申
請カ本法ニ違反スルモノト言フヲ得ス

(判決理由) 土地收用法第二十三條ニ於テ申請書ニ收用スヘキ

土地ノ番號地目等ヲ明記シタル書類ヲ添附スヘキ旨ヲ規定セルハ收用スヘキ區域ヲ明確ナラシメンカ爲ニ外ナラサルヲ以テ苟モ申請書ノ附屬圖面ニ收用地ノ區域ヲ明確ニ圖示シタル以上縱令之ニ記載セル地番カ眞正ノ地番ニ符合セザルコト原告主張ノ如シトスルモ之ヲ以テ同法第三十五條第二項ニ所謂申請カ本法ニ違反スルモノト云フヲ得ヌ從テ被告カ右申請ヲ却下セザリシハ違法ニアラス

一四、裁決書中土地所有者ノ住所ノ誤記

ト裁決ノ効力

(內務明治四十四年八月二十六日甲第一七號) 千葉縣知事宛、土木局長同答)

(要旨) 起業者提出ノ裁決申請書ニ土地所有者ノ住所ヲ誤記シアリタル爲裁決書ニ同様誤記ノ儘記載シタルコトヲ土地收用完了後發見シタリトスルモ裁決ノ効力ニ影響ナシ

(原文) 本月二十一日附土第一〇三一七號ヲ以テ土地收用法ニ關スル疑義ノ件御照會有之候處右ハ御見解ノ通ト被存候此段及同答候也

(千葉縣知事伺) 土地收用法ニ依リ收用審査會ニ於テ土地收用ノ裁決ヲ爲シ起業者ハ該裁決ニ依リ土地收用ヲ完了シタルニ當初起業者提出ノ申請書中土地所有者住所ノ番地ヲ誤記シタル結

果裁決書ニモ同様誤記ノ儘記載シタルコトヲ發見シ起業者ヨリ之カ更正方申出有之候處右ハ裁決ノ効力ニ何等ノ影響無之モノト認メ候ニ付申出通審査會ニ於テ更正ノ手續ヲ爲シ差支ナキ見込ニ候ヘ共一應貴官ノ御意見承知致度候

追テ本件ハ差懸リ必要有之候ニ付テハ折返御回報相成度候

第三十六條 收用審査會ハ會長一人委員六人ヲ以テ之ヲ組

織ス

施行令

第十一條 收用審査會長及委員ニハ旅費ヲ支給ス

第十二條 收用審査會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費額

及其ノ支給方法ハ內國旅費規則ノ定ムル所ニ依ル

高等文官ニ非サル委員ノ旅費額及其ノ支給方法ハ府縣制第九

十四條ニ從ヒ定ムル所ニ依ル

一、收用審査會ノ組織改正ニ關スル意見

(五二議貴族院特別委員會) 昭和二年二月二十一日

(要旨) 收用審査會ノ裁決ノ的確ヲ圖ル必要上委員六人ヲ八人ニ増加シ學識經驗者ヲ加フヘシトノ意見

(政府委員說明) 鐵道同志會カラ收用審査會ノ組織ニ關シテ意

見書力出テ居リマス。其レハ收用審査會裁決ノ的確ヲ圖ル必要
上委員六人ヲ八人ニ増加シ學識經驗アル者ヲモ其中ニ加ヘルコ
トニスルカ宜シイト云フ意見デアリマス。其ノ點ニ付テ考ヘテ
見マシタノデスガ、裁決ノ的確ノ期々可キコトハ無論デアリマ
スガ、收用審査會ハ普通ノ諮問機關トハ少シ性質ガ變ツテ居リ
マス一ツノ官廳ノ働キラスルモノデ其ノ裁決ヲシマス時ニハ鑑
定人又ハ事實參考人ヲ呼出シテ其ノ陳述ヲ聽ク途モ土地收用法
ガ認メテ居ルノデアリマスノデ特ニ委員ヲ増員シテ學識經驗ア
ル者ヲ委員ニ任命シナクトモ……裁決ノ結果公平ヲ圖ルト云フ
コトハ實現シ得ルト云フ積リデ此ノ點ニ付テハ改正ヲ加ヘナカ
ツタノデアリマス。

註、後出第三十八條資料ニ參照

第三十七條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ議事其ノ他ノ
會務ヲ統理シ會ヲ代表ス

一、審査會長ノ代理ト裁決ノ署名

(一) (内務 明治三十三年九月一日)
新瀉縣知事宛土木局長回答)

(要旨) 知事不在ノトキハ地方官々制第十三條第三項ニ依
リ縣ノ高等官ヲシテ收用審査會長ノ職務ヲ代理セシメ差支

ナキモ其ノ裁決ハ代理者ノ名ヲ以テスルヲ相當トス

(原文) 知事不在ノトキ地方官々制第十三條第三項ニ依リ縣
ノ高等官ヲシテ收用審査會長ノ職務ヲ代理セシメ差支ナシ但シ
其ノ裁決ハ代理者ノ名ヲ以テスル方然ルヘシト存ス

註、次項參照

(二) (行裁 明治四十三年第七三號)
同四十二年六月二十七日宣告)

(要旨) 土地收用法中收用審査會長事故アル場合ノ代理官
ヲ定メタル規定ナケレハ地方官々制第十三條ニ依リ府縣内
務部長ニ於テ知事不在中ノ職務ヲ臨時代理シタルハ相當ナ
リ而シテ此ノ場合ニ於テ内務部長ガ裁決書ニ知事ノ名ヲ署
シタルハ遺法ニ非ス

(判決理由) 原告ハ被告群馬縣知事カ自ラ本件審査會ノ議事及
裁決ニ參加セス臨時内務部長ヲ以テ會長ノ職務ヲ行ハシメタル
ノミナラス右代理官ノ名義ヲ用ヒス妄リニ知事ノ署名ヲ以テ裁
決書ヲ發行シタルハ土地收用法第三十七條ノ規定ニ背戾スルヲ
以テ遺法ナリト主張スルモ土地收用法第三十六條ニ「收用審査
會ハ會長一人委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス」竝同第三十七條ニ
「會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ議事其他ノ會務ヲ統理シ會ヲ
代表ス」トアリテ同法中別ニ會長事故アル場合ノ代理官ヲ定メ

タル法文ナキヲ以テ本件ノ如キ土木行政ニ關スル事務ニ就テハ一般ニ地方長官ノ職務ヲ代理掌管スルノ法則ヲ定メタル地方官々制第十三條ノ「知事故障アルトキハ内務部長タル事務官之ヲ代理ス」トアル規定ニ依リ知事不在中ノ職務ヲ臨時内務部長ニ於テ代理執行シタルハ素ヨリ相當ノ處置ナルノミナラス其ノ會長ノ職務ヲ臨時代理シタル場合ニ於テ裁決書ニ知事名ヲ署記シタルハ地方行政事務上ニ於ケル普通ノ例規ニ依リタルモノニシテ政テ違法ナリト云フヲ得ス

第三十八條 委員ハ高等文官及道府縣職名譽參事會員各三人ヲ以テ之ニ充ツ

高等文官ニシテ委員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命シ道府縣名譽職參事會員ニシテ委員タルヘキ者ハ其ノ互選トス

一、本條第一項ノ注意

(一四議 明治三十三年二月十三日 族 院)

(要旨) 舊土地收用法ニ於テハ府縣參事會員ヲ全部委員トナシタルニ本法ニ於テハ其ノ組織ヲ改メタル理由

(問) 政府委員ニ御尋致シマス、此ノ三十八條ニ於キマシテ收用審査委員ノ人員ヲ規定サレテ御座イマスガ従前ハ府縣參事

會員ガ殘ラズ審査委員トナツテ居リマシタガ今度ハ府縣參事會員ヲ三名ト限ラレタノハ何ウ云フ理由デ御座イマスカ承リ度ウ御座イマス

(政府委員答) 御答申シマスルガ、今回收用法改正ノ際ニ委員

ノ組織ヲ改メマシタノハ本來收用ノ裁決ハ茲ニ規定シテアリマスル通り極メテ鄭重ニシテアリマシテ稍一種ノ裁判ニ近イ位デアリマス、其レデ決スル所ノ問題ハ法律ノ問題モ有リ事實ノ問題モ無論アリマスケレドモ先ヅ法律ノ適用デアリマス、其レデ現行法ニ於キマシテハ此ノ審査委員ニハ府縣名譽職參事會員ヲ以テ之ニ充テルト云フコトニナツテ居リマスケレドモ是ハ一時ノ姑息ノ法デアラウト考ヘテ居リマス。其レデ唯今申ス様ナ性質ノ事件デアリマスカラシテ法律ノ知識ヲ備ヘテ居ル可キ管ノ高等文官及地方ノ狀況ヲ知ツテ居ル所ノ名譽職參事會員各半數ツツヲ以テ組織シテ行キマスレバ裁決ノ公平ヲ保ツ上ニ餘程利益デアルト云フ考デ組織ヲ改メマシタモノデ御座イマス。

二、收用審査會ノ組織改正ニ關スル意見

(五一議 昭和二年三月十二日 衆議院特別委員會)

(要旨) 收用審査會ニ於テ收用價格算定等ノ的確ヲ期スル爲メ委員ノ組織ヲ改メ收用地附近ノ經驗者ヲ之ニ加フ可シ

ノ意見

(問) 土地ヲ收用スル場合ニハ其ノ地方ニ於テ土地收用ノ審査會ヲ置クト云フ事ニナツテ居リマス、此ノ審査會ナルモノハ縣デアリ府デアアルナラバ内務部長或ハ參事會員斯ウ云フ人ニ依ツテ委員ガ組織サレルノデアリマス、所ガ果シテ其ノ委員ナル者ガ公平デアリ得ルカ收用サレル土地ノ價格或ハ老舗、地上權ト云フ様ナモノニ付テノ充分ナ審査ガ出來ルヤ否ヤ、斯ウ云フ事ニ付テ政府ノ御考ヲ伺ヒ度イノデアリマス、私ハ土地收用審査會ノ裁決ヲ更ニ公平ナラシムル爲ニ委員ニハ其ノ收用スル土地ノ附近ニ永ク居住シテ居ル相當信用アル者ヲ二人此ノ委員ニ入レルト云フ事ハ收用法ヲ改正サレル所ノ最モ公平ナル趣旨ニ適フト思ヒマス

(政府委員答) 唯今ノ森田君ノ御問ニ對シテ御答致シマス、土地ニ關スル權利者ガ色々アル、地上權者モアレバ借地權者モアルガ此ノ收用審査會ニ於テノ收用價格ノ算定ガ甚ダ不充分デアルカラ從來ノ如キ委員ノ組織ヲ改メテ收用地附近ノ經驗者ヲ其ノ委員ノ中ニ加入セシムル考ハナイカト云フコトデアリマスガ是ハ現在ノ收用審査會ノ組織デ收用價格ノ評定ニ付テハ少シモ遺憾ガナイト思フノデアリマス、何トナレバ若シモ其ノ收用地附近ノ人々ノ意見ヲ聽ク必要ガ有リマスレバ第四十三條第二項

ニ依ツテ其ノ土地所有者又ハ其ノ他ノ者ヲ呼出シテ其ノ意見ヲ聽クコトガ出來ルノデアリマス、其レハ必ズシモ收用審査會ノ中ニ入レル必要ハナイト思フノデアリマス

第三十九條 收用審査會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

收用審査會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第四十條 委員カ起業者、土地所有者又ハ關係人ナルトキハ收用審査會ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

委員カ起業者、土地所有者若ハ關係人ノ配偶者、四親等内ノ親族、戸主、家族、代理人及保佐人ナルトキ又ハ起業者、土地所有者若ハ關係人タル市町村ノ市町村長、合名會社ノ社員、合資會社及株式會社ノ無限責任社員、株式會社ノ取締役及監査役其ノ他法人ノ理事及監事ナルトキ亦前項ニ同シ

本條ノ規定ニ依リ委員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ地方長官ハ左ニ掲ケタル順序ニ從ヒ其ノ本條

ノ規定ニ牴觸セサル者ノ内ヨリ臨時ニ指名シテ之ヲ補充スヘシ

一 道府縣名譽職參事會員

二 道府縣ノ名譽職參事會員ノ補充員

三 道府縣會議員

一、本條改正ノ理由

(內務昭和二年改正案說明書)

(原文) 收用審査會委員カ起業者、土地所有者若ハ關係人タル市町村ノ市參事會員、町村長ナルトキハ收用審査會ノ議事ニ參與スルコトヲ禁止スルトコロアリト雖現行市制中市參事會員ハ市政執行機關ニ非サルヲ以テ之ヲ除外スルノ必要ナキニ依リ「市參事會員町村長」ヲ「市町村長」ニ改メムトス
北海道ニ於ケル收用審査會ノ爲スヘキ職務ハ地方長官ヲシテ執行セシメタルモ第八十六條第一項ヲ廢止シ北海道ニモ收用審査會ヲ設置セムトスルカ故ニ其ノ委員ニ道名譽職參事會員及道會議員ヲ追加セムトス

二、道路管理者タル町村長カ起業者ナル

場合ニ於テ町村會議員ト本條

(行裁大正十三年第一五二號同十四年六月四日宣告)

(要旨) 道路管理者タル町村長カ起業者ナル場合ニ於ケル土地收用ニ關シ町村會議員カ收用審査會委員トシテ其ノ議事ニ參與スルハ土地收用法第四十條第一項及第二項ノ規定ニ牴觸スルコトナシ

(判決理由) 本件土地收用ハ鳥取縣西伯那米子町ニ於ケル町村道朝日町線改築工事ノ爲メニスルモノナルカ故ニ道路法第十四條第十七條及第二十條ノ規定ニ照シ其ノ起業者ハ該道路ノ管理者タル米子町長ナリ而シテ米子町長カ起業者ナル場合ニ於ケル土地收用ニ關シ米子町會議員遠藤光徳カ鳥取縣收用審査會委員トシテ其ノ議事ニ參與シタルハ收用法第四十條第一項及第二項ノ規定ニ牴觸スルコトナキヲ以テ違法ニ非ス

第四十一條 收用審査會ノ裁決ハ起業者、土地所有者及關係人ノ申立タル範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

一、本條ノ法意

(行裁大正元年第一八五號同年十二月四日宣告)

(要旨) 土地收用法第四十一條ニ所謂「裁決ハ起業者、土

地所有者及關係人ノ申立タル範圍ヲ超ユルコトヲ得ス
トハ各當事者ノ主タル申請事項以外ニ涉リテ審判ヲ加フルノ
權ナキコトヲ規定シタルモノトス

(判決理由) 法第四十一條ニ所謂「申立ノ範圍ヲ超ユルコトヲ
得ス」トハ各當事者ノ主タル申請事項以外ニ涉リテ審判ヲ加フ
ルノ權ナキヲ規定シタルモノニシテ被告審査會カ申請地並ニ地
上物件ノ補償額ヲ定ムルニ當リ谷村區裁判所土地登記簿附屬書
類ニ就キ收用地附近ノ土地賣買價格ヲ考查シ收用地ノ實況ヲ判
別スルカ爲メ村役場備付ノ分間圖ヲ對照引用シタル如キハ孰レ
モ當該申請事項ノ裁決ヲ爲スニ就テノ必要ナル調査材料ヲ審判
上ノ參考ニ資シタル迄ニシテ敢テ申請ノ目的以外ニ涉リ他ノ事
項ヲ追加シタルモノニ非サルヲ以テ右原告カ申立ノ範圍ヲ超越
セリトノ主張ハ毫モ理由ナキモノトス

二、申立範圍超越ノ意義

(一)

(行裁 昭和五年第六二二號
昭和十年三月二日宣告)

(要旨) 起業者ノ裁決申請書ニ記載セル物件ノ種目ヲ包括
算定スルハ之ヲ不當ナリト謂フヲ得サルモ右裁決ニ於テ起
業者ノ申立タル物件ヲ所有者ノ意見ニ基カスシテ削除シ又

ハ其ノ補償金額ヲ減少スルハ土地收用法第四十一條ニ所謂
起業者ノ申立テタル範圍ヲ超ユル場合ニ該當シ同條ノ規定
ニ違背スルモノト解スルヲ相當トス

(判決理由) 收用審査會ノ裁決ニ於テ同一人ノ所有ニ屬スル地
上物件ノ移轉及之ニ伴フ改築ノ費用補償金額ヲ算定スルニ當リ
起業者ノ裁決申請書ニ記載セル物件ノ種目ヲ包括算定スルハ之
ヲ不當ナリト謂フヲ得サルトモ右裁決ニ於テ起業者ノ申立テタ
ル物件ヲ所有者ノ意見ニ基カスシテ削除シ又ハ其ノ補償金額ヲ
減少スルハ土地收用法第四十一條ニ所謂起業者ノ申立テタル範
圍ヲ超ユル場合ニ該當シ同條ノ規定ニ違背スルモノト解スルヲ
相當トス從テ本件起業者ノ申請書ニ於テ精米機清水式一臺五十
圓、シヤフト臺鐵製アングル一組十五圓、シヤフト長一間四分
一ヶ所五圓、電動機三馬力一臺四十圓、電動室木製一ヶ所十圓
ト記載シアルヲ本件裁決書ニ於テハ之ヲ精米機一式三十圓トシ
起業者申請書ニ於テ電燈メーター付九燈三十六圓トアルヲ本件
裁決書ニ於テハ電燈九燈二十七圓トシ又起業者申請書ニ於テ金
庫臺及金庫煉瓦積一箇十五圓トアルヲ本件裁決書ニ於テハ金庫
移轉一式五圓トセルカ如キハ何レモ起業者ノ申立テタル範圍ヲ
超ユル違法ノ裁決ニシテ取消ヲ免レサルモノトス

(二) (行裁 明治三十四年第二三一號 同三十五年三月五日宣告)

(要旨) 裁決ニ移轉ト記載スヘキヲ移植ト記載シ又收用時期ヲ變更シタルカ如キハ申立ノ範圍ヲ超エタルモノニ非ス

(判決理由) 原告ハ移轉ト記スヘキヲ移植ト記シ又豫定ノ收用時期ハ九月一日ナリシニ之ヲ十月三十日ト爲シタルハ土地收用法第四十一條ノ規定ニ違背スルモノナリト謂フモ移轉ヲ移植ト記載シタルカ如キハ土地所有者ノ申立タル範圍ヲ超エタルモノト謂フヲ得ス又收用時期ヲ十月三日ト爲シタルハ畢竟土地收用法第三十五條第二號ノ規定ニ依リ收用時期ヲ確定シタルニ過キサルモノトス

(三) (行裁 明治三十四年第二九〇號 同三十五年四月二十八日宣告)

(要旨) 起業者カ土地所有者ニ對シ一坪金五圓四十七錢ニテ買收セントノ協議ヲ爲シタリトスルモ右ハ收用審査會ニ對シ起業者ヨリ爲シタル申立ニ非サルヲ以テ裁決申請ニ於テ畑一坪金二圓宅地一坪金三圓ト申立テタルニ對シ一坪ニ付金四圓ト裁決スルハ申立ノ範圍ヲ超エタルモノニ非ス

(判決理由) 原告ハ被告審査會ニ於テ本件收用地ヲ一坪金四圓

ト裁決シタルハ當事者ノ申立テタル範圍ヲ超エタルモノニシテ土地收用法第四十一條ニ違背スルモノナリト云フモ原告カ被告審査會ニ對シ申立タル價格ハ一坪ニ付金八圓ニシテ起業者ハ畑一坪ニ付金二圓宅地一坪ニ付金三圓ノ割合ニテ買收セントラ乙第一號證ノ如ク申立テタルノミナラス原告ニ於テモ起業者ヨリ右ノ價格ヲ申立テタルコトハ争ヒナキ所ナリ左レハ起業者ヨリ一坪金五圓四十七錢ニテ買收セントノ申込書即チ甲第六號證ヲ原告ヨリ被告ニ提出シタリトスルモ是等ハ單ニ協議ノ申込ニ止マリ被告審査會ニ對シ起業者ヨリ爲シタル申立ニ非ス既ニ前掲ノ如ク起業者ヨリ被告ニ對シ價格ノ申立ヲ爲シタルモノナレハ被告カ一坪ニ付金四圓ト決定シタルハ毫モ第四十一條ニ違背スル所ナシ

(四) (行裁 大正十二年第七號 同十三年五月八日宣告)

(要旨) 停留所ハ軌道敷設事業ノ一部ニシテ常ニ軌道敷設ニ隨伴スルモノナレハ軌道敷設事業ノ土地收用申請ニ對シテ收用審査會カ停留所ノ設置ヲ排斥シ軌道敷地ノ收用ヲ裁決シタルハ起業者ノ申立ノ範圍ヲ超過シタルモノニアラス (原告主張) 起業者ノ收用申請ニ依レハ收用土地ハ軌道敷設事業ト必然隨伴スヘキ停留所ニ使用スヘキモノナルコトハ添附圖

面及事業計畫等ニ徴シテ明瞭ナリ然ルニ停留所設置ニ付テハ起業者カ未ダ地方長官ノ認可ヲ受ケ居ラサルヲ以テ右申請ハ却下セラルヘキモノナルニ拘ラス被告ハ假令停留所ヲ設置セサルモ軌道敷設ノ爲必要ナリトシテ收用裁決ヲ爲シタルハ起業者ノ申立ヲ超過シ土地收用法第四十一條ニ違背シタルモノナリ

(判決理由) 停留所ハ軌道敷設事業ノ一部ニシテ常ニ軌道敷設ニ隨伴スルモノナレハ本件軌道敷設事業ノ土地收用申請ニ對シテ被害カ停留所ノ設置ヲ排斥シ軌道敷地ノ收用ヲ裁決シタルハ起業者ノ申立ノ範圍ヲ超過スルモノニ非ス

三、當事者双方ノ申立ナキ事項ト裁決ノ範圍

(一) (行裁大正三年第五九號)
同四年七月二十八日宣告

(要旨) 收用審査會ノ裁決ハ土地收用法第四十一條ニ依リ起業者土地所有者及關係人ヨリ申立テタル範圍ヲ超ユルコトヲ得サルモノナルヲ以テ其ノ申立ナカリシ事項ニ付裁決ヲ爲ササリシハ違法ニアラス

(判決理由) 收用土地ノ地上物件ノ移轉ニ基因スル損失補償ノ點ニ付按スルニ該地上物件ヲ後方ニ移轉スル爲殘地上ノ建物四棟ヲ順次後方ニ移轉セサルヘカラス又收用土地ノ地上物件タル

建物並殘地上ノ建物移轉ノ爲從來之ニ住居セシ借家人ニ慣習上家賃ヲ返還スルコト及建物移轉ノ爲要スル日數間家賃ノ收益ヲ爲シ得サルコトハ土地收用法第五十四條ニ所謂通常受クヘキ損失ナルヲ以テ其ノ補償ヲ爲スヘキモノナルニ被告カ其ノ裁決ヲ爲ササリシハ違法ナレハ此ノ點ニ付裁決ヲ爲スヘシトノ判決ヲ求ムト雖元來土地收用審査會ノ裁決ハ土地收用法第四十一條ニ依リ起業者土地所有者及關係人ヨリ申立テタル範圍ヲ超ユルコトヲ得サルモノナリ然ルニ前示ノ事項ニ付テハ何等ノ申立ナカリシコトハ當事者間ニ爭ナキ所ナレハ此點ニ付被告カ裁決ヲ爲ササリシハ當然ニシテ違法ニ非ス故ニ此ノ點ノ請求ハ採用スルコト能ハス

註、第四十一條ノ意義ニ付テハ誤解ヲ招キ易イガ要スル

ニ收用審査會ハ當事者ノ主張以上ノ利益ヲ考慮シテ裁決ヲ爲スコトヲ要セズト云フ程度ノモノデアハルマイカ。收用審査會ハ公益上ノ必要其ノ他職權調査事項ノ範圍内ニ於テハ其ノ信スル所ニ從ヒ當事者申立ノ如何ニ拘ラス裁決ヲ爲シ得ルモノト解ス可キデアル。此ノ意味ニ於テ殘地補償ニ關スル昭和四年第二二九號事件同六年十二月六日判決ハ注目ニ價スル。後出本條資料五ノ(一)參照。

(二) (行裁大正三年第一二四號)
同三年七月二十九日宣告

(要旨) 起業者カ何等申立ヲ爲サス土地所有者亦何等意見書ヲ提出セサルトキハ審査會カ之ニ付キ裁決ヲ爲ササルハ相當ナリ

(判決理由) 原告ハ收用地ニ麥作アルニ拘ラス其ノ損失補償ヲ與ヘサル本件裁決ハ不法ナリト謂フト雖起業者ハ收用地ニ麥作ノ存在スルコト及其ノ補償ニ關シ全然申立ヲ爲サス原告亦本件收用ニ付土地收用審査會ニ何等意見書ヲ提出セサリシヲ以テ假ニ原告主張ノ如ク收用地上ニ麥作アリタリトスルモ當事者ノ申立テサル事項ニ係ルヲ以テ審査會カ此ノ點ニ付裁決ヲ爲ササリシハ相當ナリ

(三) (行裁大正十三年第四號)
同十四年三月三十一日宣告

(要旨) 起業者ヨリ何等申立ナク又關係人ノ意見書ニモ何等申立テサル事項ニ關シ收用審査會カ裁決ヲ爲ササルハ相當ナリ

(判決理由) 原告井上松三郎ハ前記土地ニ於テ營業權ヲ有シ水菓子販賣其ノ他ノ營業ヲ營ミ居ル者ナルニ拘ラス被告カ之ニ對

スル補償ノ裁決ヲ爲ササルハ違法ナリト主張スルモ右營業權ニ對スル補償ニ付テハ起業者ヨリ何等申立ナク又原告ノ意見書中ニモ之ニ付申立ツルコトナキニ依リ收用審査會カ此ノ點ニ關スル裁決ヲ爲ササリシハ土地收用法第四十一條ノ規定ニ照シ相當ニシテ原告ノ主張ハ理由ナシ

四、意見書ノ不提出ト裁決ノ範圍

- (一) (行裁大正三年第一二四號)
同三年七月二十九日宣告
- (二) (內務明治三十七年四月十一日甲第三三號)
福岡縣知事宛土木局長回答
- (三) (內務明治四十二年七月二日特甲第一七號)
京都府知事宛土木局長回答
- (四) (內務明治四十四年八月十七日)
福岡縣知事宛土木局長回答
- (五) (行裁昭和六年第八五號)
同七年七月十六日宣告

(前出第二十五條資料ニ參照)

五、殘地補償ニ關スル申立ト裁決ノ範圍

- (一) (行裁昭和四年第一二一九號)
同六年十二月三日宣告

(要旨) 收用審査會カ土地ノ一部ノ收用ヲ裁決スル場合ニ

ハ殘地補償ノ要否ハ起業者又ハ土地所有者若クハ關係人ノ申立ノ有無ヲ問ハス當然之ヲ調査シ裁決スヘキモノト解スルヲ相當トス

(原告主張) 被告ハ被告カ本件殘地ノ補償ニ付何等裁決スル所ナカリシハ原告カ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出ヲ爲ササリシニ因ルモノナルカ故ニ何等違法ニ非サル旨主張スルモ同法第四十三條第四十九條第五十四條ノ規定ニ徴シ被告ハ職權ヲ以テ收用ニ因ル殘地ノ補償ニ付調査シ裁決ヲ爲スヘキモノト云ハサルヘカラス假ニ然ラストスルモ土地所有者關係人カ申立ヲ爲ス形式ニ於テ同法ハ何等規定スル所ナキヲ以テ苟モ實質上申立アリタルモノト認メ得ヘキ場合ニハ被告ハ其ノ申立アリタルモノトシ其ノ範圍ヲ確定スル爲職權調査ヲ爲スヘキモノト解スヘキモノトス

(判決理由) 起業者ノ協議ニ對シテハ原告カ殘地ノ補償ヲ求メタルコトヲ認メ得ルモ殘地ノ買收ヲ求メタルコトヲ認メ得サルノミナラス本件收用ニ關シ原告カ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セサリシコトハ原告ノ爭ハサル所ナルヲ以テ被告カ本件收用ノ裁決ニ於テ殘地ノ收用ニ付テ何等裁決スル所ナカリシハ違法ニ非ス然レトモ收用審査會カ土地一部ノ收用ヲ裁決スル場合ニハ殘地補償ノ要否ハ起業者又ハ土地所有者若クハ關係

人ノ申立ノ有無ヲ問ハス當然之ヲ調査シ裁決スヘキモノト解スルヲ相當トスルカ故ニ土地ノ一部收用ニ付起業者カ協議議ハサルモノトシテ收用ノ裁決ヲ申請スルニ當リ殘地補償ニ付何等記載スル所ナク土地所有者亦之ニ付收用審査會ニ對シ何等申立ヲ爲ササリシ場合ニ於テモ同會ニ於テ殘地補償ニ關スル裁決ヲ爲ササリシトキハ土地所有者ハ右裁決ニ對スル行政訴訟ニ於テ殘地補償ニ付請求ヲ爲シ得ルモノト解スルヲ相當トシ此ノ解釋ニ異ナル當裁判所ノ從來ノ判例(行政裁判所大正四年七月二十八日宣告同三年第五十九號事件、同月二十九日宣告同年第一二四號事件、同十年五月八日宣告同十二年第七號事件、同十五年十二月十三日宣告同十一年第八十二號事件等)ハ殘地ノ補償ニ關スル限り之ヲ變更スヘキモノトス從テ本件收用ニ因ル殘地ノ補償ニ關シテ起業者ニ於テ何等申立ツル所ナク原告ニ於テモ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セサリシノ故ヲ以テ被告カ同法第四十一條ニ依リ殘地ノ補償ニ付裁決スル所ナカリシハ違法ニ非サル旨ノ被告主張ハ採用セス

(二)

(行裁昭和三年第一八九號
同五年二月二十日宣告)

(要旨) 收用殘地ノ損失補償ニ付テハ收用審査會ハ土地收用法第四十九條ノ規定ヲ同法第四十一條ニ從ヒ起業者土地

所有者及關係人ノ申立タル範圍内ニ於テ適用スヘキモノニシテ其ノ適用カ申立ノ範圍内ニ於テ違法ナラサル限り裁決ヲ違法ナリト爲スヲ得ス

(判決理由) 本件土地收用ノ殘地補償ニ付按スルニ本件土地收用ノ起業者カ收用殘地ニ關スル損失ノ補償ニ付申立ヲ爲サス原告亦右ニ關シ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セザリシコトハ當事者間争ナキ所ナリ、然ルニ斯ル場合ニ於テハ收用審査會ノ裁決ハ土地收用法第四十一條ニ依リ起業者土地所有者及關係人ノ申立テタル範圍ヲ超ニルコトヲ得サルニ因リ該損失ノ補償ニ付裁決ヲ爲スコトヲ得サルモノナルコト當裁判所ノ屢判示シタル所ノ如クナルヲ以テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ不當ナリ原告ハ本訴ハ土地收用法第四十九條ニ基キ直接行政裁判所ニ救濟ヲ請フモノニシテ同條ハ意見書ヲ提出セザルト否トニ關係ナシト主張スルモ收用審査會ハ土地收用法第四十九條ノ規定ヲ同法第四十一條ニ從ヒ起業者土地所有者及關係人ノ申立タル範圍内ニ於テ適用スヘキモノニシテ申立ノ範圍内ニ於テ其ノ適用カ違法ナラサル限り該裁決ヲ違法ナリト爲スヲ得サルニ依リ右原告ノ主張ハ理由ナシ原告ハ又本件ニ於テハ當初ヨリ收用殘地ニ損失ヲ生スヘキコト明瞭ナルニ起業者カ其ノ申立ヲ爲サザリシハ不當ノ處置ナルヲ以テ原告カ意見書ヲ提出セザルモ

被告ハ損失補償ニ付裁決ヲ爲スヘキモノナリト主張スルモ起業者カ補償ノ申立ヲ爲サザリシコトカ不穩當ナリトスルモ土地所有者及關係人ニ於テ之ニ對シ異議アル旨ノ意見ヲ申立テサル以上ハ收用審査會ハ當事者ノ申立テタル範圍ヲ超エテ其ノ損失補償ニ付裁決ヲ爲スコトヲ得サルコト前示ノ如クナルニ依リ右原告ノ主張ハ亦理由ナシ

註、以下二件ハ前掲昭和六年十二月三日判決ニ依リ變更セラレタモノデアルガ參考迄ニ掲ゲル

(三) (行裁大正十一年第八二號) 同十五年十二月二十三日宣告

(要旨) 收用審査會ノ裁決ハ當事者ノ申立テタル範圍内ニ於テ之ヲ爲スヘキモノナレハ殘地ノ損失ノ補償ニ付テ起業者ヨリ何等ノ申立ナク土地所有者ヨリモ意見書ノ提出ナカリシ場合收用審査會ニ於テ之カ裁決ヲ爲サザリシハ當然ナリ

(原告主張) 被告カ起業者申請ニ係ル原告所有ノ土地二十七筆ノ各土地ノ内一部ヲ收用セルニ拘ラス之カ爲生スヘキ殘地價額ノ減損ニ付補償ヲ與ヘサルハ土地收用法第四十九條ノ規定ヲ無視セル不當ノ處置ナリトス蓋シ一筆ノ土地ノ内一部分ヲ收用シ

タル場合ニ於テハ其ノ殘地カ縮少セラレ形狀ヲ損シ效用ヲ減シ之ヲ隣合セントセハ費用ヲ要スルカ故ニ特別ノ事情ナキ限り一般ニ其ノ價格ノ減損ヲ來スヘキハ當然ナルノミナラス本件收用地ハ起業者ニ於テ幅員約五間高サ約二間ノ堤防ヲ築キタル爲其ノ兩側ニ位スル田畑ノ殘地ハ耕作ニ甚シキ不便ヲ被ムルニ至リ風ノ流通ヲ妨ケラレ虫害ヲ受クヘキヲ以テ之カ利用ノ途ナク現在荒蕪地トナリ居レハナリ被告ハ收用審査會ノ裁決ハ當事者ノ申立テタル範圍内ニ於テ之ヲ爲スヘキモノナレハ起業者ヨリ何等ノ申立ヲ爲サス原告ヨリモ亦意見書ヲ提出セサル殘地價額ノ減少ニ對スル補償ニ付裁決ヲ與ヘサルハ相當ナリト云フモ一筆ノ土地ノ一部ヲ收用シタル場合ニ於テハ特別ナル事情ノ存セサル限り一般ニ其ノ價額ノ減少ヲ來スモノト看做スヘク而モ其ノ殘地カ著シク其ノ形態ヲ損シタルコト起業者ノ申請書類ニ徴シ明ナル本件ノ如キ場合ニ於テハ縱令殘地ニ對スル補償ニ付起業者ヨリ何等ノ申立ナシトスルモ被告ハ進シテ之カ調査ヲ爲シ相當ノ補償ヲ與フヘキハ當然ノ處置ナリト云ハサルヘカラス又同法第二十五條所定ノ意見書ハ必スシモ之ヲ提出スヘキコトヲ強要スルモノニ非サルヲ以テ之ヲ差出ササルカ爲當然損失ノ補償ヲ受クヘキ權利ヲ失フヘキ理由ナキカ故ニ被告ノ主張ハ理由ナ

(判決理由) 土地收用法第四十一條ニ依レハ收用審査會ノ裁決ハ當事者ノ申立テタル範圍内ニ於テ之ヲ爲スヘキモノニシテ右

損失ノ補償ニ付テハ起業者ヨリ何等ノ申立ナク原告ヨリモ意見書ヲ提出ナカリシコトハ原告ノ爭ハサル所ナレハ被告ニ於テ之カ裁決ヲ爲ササリシハ當然ニシテ原告主張ハ理由ナシ

第四十二條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ選

ビ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

前項ノ鑑定人ニ付テハ第四十條ノ規定ヲ準用ス

一、收用スヘキ土地ノ管轄町村長ト本條

第二項

(行裁 明治四十二年第二〇七號)
同四十三年一月二十一日宣告

(要旨) 收用スヘキ土地ヲ管轄スル町村長ハ土地收用法第四十條第二項ニ所謂關係人タル町村長ニ該當セサレハ之ヲ鑑定人ニ選定スルハ違法ニ非ス

(判決理由) 原告ハ被告ノ選定シタル鑑定人ノ一人ハ收用セラ

ルル土地ヲ管轄スル町長ナルヲ以テ土地收用法第四十條第四十二條ニ依リ鑑定人タルヲ得サルモノナリト云フモ右二條ノ規定ハ起業者土地所有者若クハ關係人タル町長ノ鑑定人タルヲ禁止

スルノ趣旨ニシテ單ニ收用セララル土地ヲ管轄スルノ故ヲ以テ關係人ト云フヘキモノニアラサルヲ以テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ理由ナキモノトス

第四十三條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ起業者、土地所有者又ハ關係人ヲ呼出シ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

收用審査會ハ事實參考ノ爲必要ト認ムルトキハ前項ニ掲グル者以外ノ者ヲ呼出シ其ノ供述ヲ聽クコトヲ得

一、本條改正ノ理由

(內務昭和二年改正案說明書)

(原文) 現行法ニ於テハ收用審査會カ供述ヲ聽クコトヲ得ル事實參考人ヲ土地所有者ニ限定セリト雖モ本法案ニ於テハ收用地上ニ存スル建物ノ權利者ヲ關係人ト爲シタルヲ以テ土地所有者ニ限定スルノ必要ナク廣ク第三者ノ供述ヲ聽キ審査ノ判斷ヲ正鵠ナラシムルノ必要アルヲ以テ事實參考人ノ範圍ヲ擴張セムトス

二、當事者呼出ノ場合ニ於ケル費用ノ支給

(內務明治三十六年二月十八日 富山縣知事宛土木局長回答)

(要旨) 起業者土地所有者及關係人ヲ收用審査會ニ呼出スモ旅費手當若クハ日當宿泊料等ヲ給與スルコトナシ

(原文) 本年二月七日内六發第十六號ヲ以テ土地收用法中疑義ニ關シ照會相成候處

一、起業者土地所有者及關係人ハ收用審査會ニ呼出スモ旅費手當若クハ日當宿泊料等ヲ給與スヘキ限ニアラスト存候
二、日當若クハ手當等ヲ給與スヘキ限ニアラスト存候
右及回答候也

(富山縣知事伺)

一、土地收用法第四十三條ニ依リ收用審査會ニ於テ土地所有者及關係人ヲ遠路ヨリ呼出シ其意見ヲ聽取セシニ右召喚ニ應シタル者ハ孰レモ旅費及手當ヲ請求セリ然ルニ鑑定人及事實參考人ハ法第四十五條ニ依リ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得ルノ明文有之候モ土地所有者及關係人ハ假令遠隔ノ地ヨリ召喚ニ應シタリトスルモ請求權ナキカ如ク相見ニ候ニ共右ハ法第六十九條第一項ニ依リ縣ノ負擔トシ一般人民ヲ召喚スル時ノ例ニ依リ旅費日當宿泊料(手當否認シ)ヲ給與スヘキ義ナル哉

二、收用審査會ハ收用スヘキ土地物件ヲ調査スルノ必要アリテ實地ニ就キ被收用者ヲシテ立案案内ヲ爲サシメタルニ其ノ日當及手當ヲ請求セシモ右ハ法第六十八條ニ依リ被收用者ノ義務ハ

屬スル義ナル哉

右差懸ノ件有之候條急速何分ノ御回示相成度此段及照會候也

三、關係人ノ意見ト裁決理由

(行裁明治四十五年第一三一號
大正元年十一月二十九日宣告)

(要旨) 土地收用法ハ第四十三條ニ於テ收用審査會カ必要ト認ムルトキハ關係人ヲ呼出シ意見ヲ聽クコトヲ得ル旨ヲ規定スルニ過キサルヲ以テ關係人ノ意見ニ付キ説明ヲ與ヘサルモ其ノ裁決ヲ違法ト爲スヲ得ス

(判決理由) 原告ハ被告ノ裁決理由中ニ於テ係争地ノ買受豫約人タル山崎某ヲ土地ニ關シ權利ヲ有スル者ニアラスト認メ其ノ意見ニ對シ説明ヲ與ヘサリシハ違法ナリト主張スルモ買受豫約人カ土地ニ關シ權利ヲ有スルモノナルヤ否ヤハ姑ク措キ原告ノ外ナル者ノ意見ニ對シ説明ヲ與ヘサリシ事ヲ以テ原告ノ權利ヲ害シタルモノト謂フコトヲ得サルノミナラス土地收用法ハ第四十三條ニ於テ收用審査會カ必要ト認ムルトキハ關係人ヲ呼出シ意見ヲ聽クコトヲ得ル旨ヲ規定スルニ過キサレハ關係人ノ意見ニ付説明ヲ與ヘサリシ事ヲ以テ直チニ其裁決ヲ違法ト爲スコトヲ得ス

第四十四條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ會

長之ニ署名捺印スヘシ

裁決書ノ謄本ニハ會ノ印章ヲ押捺スヘシ

一、裁決書ノ方式

(一) (行裁明治三十七年第二〇八號
同十三年八月二十日宣告)

(要旨) 收用審査會ノ裁決書ノ方式ニ付テハ法令ニ別段ノ規定ナクケレハ之ヲ論難シテ裁決ノ取消ヲ請求シ得サルモノトス

(判決理由) 略

(二) (行裁大正十二年第一〇六號
同十三年三月十一日宣告)

(要旨) 土地收用法其ノ他關係法規中裁決書ニ圖面ノ添附ヲ必要トスル規定ナシ

(判決理由) 略

第四十五條 鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得

第十三條 鑑定人及事實參考人ノ旅費額ハ鐵道賃及船賃ハ二等以下ノ運賃ニ於テ、車馬賃（汽船ヲ通セサル水路ノ船賃ヲ含ム）ハ一里ニ付七十五錢以下ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ヲ以テ旅費ヲ算定ス

第十四條 鑑定人及事實參考人ノ手當ハ一日二圓乃至十圓ノ範圍内ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

鑑定ヲ爲スニ付數多ノ時間又ハ特別ノ技能若ハ費用ヲ要スルトキハ前項ノ手當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給スルコトヲ得

第四十六條 二府縣以上ニ涉ル事業ニ係ルトキハ關係地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ合同シテ收用審査會ヲ開クコトヲ得

土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會ニ關スル件

（明治三十三年三月三十一日）
勅令 第一〇一號

第一條 合同收用審査會ヲ開カムトスルトキハ關係地方長官協議ヲ爲シ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ協議調ハサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第二條 合同收用審査會會長ハ開會地ノ地方長官ヲ以テ之ニ充テ其ノ委員ハ關係府縣收用審査會委員ヲ以テ之ニ充ツ、
第三條 土地收用法第二十六條乃至第二十九條ニ規定シタル地方長官ノ職權ハ合同收用審査會ヲ開キタル場合ニ於テハ開會地ノ地方長官之ヲ行フ

第四條 合同收用審査會ノ費用ニシテ府縣ノ負擔スヘキモノノ中等文官ニ非サル委員ノ旅費ハ其所屬府縣ノ負擔トス其ノ他ハ關係府縣ノ負擔トス

附 則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

